



「夢を育む確かなまちづくりを」

皆野町長 石木戸 道也

新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆様方におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。常日頃から町政進展のためご指導ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、7月の参議院議員通常選挙におきまして、自民党が圧勝し衆・参院のねじれ状態が解消され自公連立政権がより強固な体制となりました。また、持続可能な社会保

障制度維持を目的とした消費税の4月からの増税もきまりました。

明るい話題として、80歳の三浦雄一郎さんのエベレスト登頂の快挙は世界の人々に勇気と希望を与えました。また、「日本人の心」ともいえる富士山の世界文化遺産登録に拍手喝采であります。なんと申しましたも、歓喜に沸いた2020年オリンピック東京開催の決定は昨年の数々のビッグニュースのナンバーワンです。皆さん、オリンピックを

見に行きましょう。

当町においては、安心と笑顔が行き交うまちづくりを進めてまいりました。2年継続事業として進めた防災行政無線整備事業も完成し、今後の防災、減災に繋がるよう運用してまいります。町内外の多くの子どもたちや保護者が来園し、「嬉々溢れる公園」となりました。みくろな子ども公園へのアクセス道路の整備も地権者のご協力により進めております。「道の駅みなの」はオープンして1年余となりましたが、道の駅登録効果と農家や商店等の皆様による来客者のニーズに応えた安全新鮮な農産物や土産、特産品などの品揃えにより、JA農産物直売所では、客数、売上額とも大幅に増加し大変好調な状

況で推移しております。なお、道の駅周辺の公共下水道整備につきましても進めております。

新年度におきましても、健全な財政運営を念頭に、全ての分野の安全・安心をベースにした、子育て支援策、元気で長生き対策、安心快適な生活が実感できる施策を継続し、定住促進や教育文化施設、道路橋梁の整備に取り組んでまいります。

豊かな心と夢を育み、多くの皆様が共感できるようなバランスの取れた確かなまちづくりを進めてまいります。本年も町民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

賀正



「秩父地域一丸となって

豊かなまちづくりを」

皆野町議会議長 大澤 径子

新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆様方には、ご健勝で新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、局地的な豪雨、土石流、台風、竜巻と様々な災害が日本の各地で発生し、自然の猛威の前に命を守る難しさを改めて感じさせる年となりました。

景気は緩やかに上昇していると報道等では伝えられています

が、その効果が実感できるのはまだまだ先のように思われます。そんな中、2020年東京オリンピック開催が決定したことは、明るいニュースではありますが、オリピック特需が東北復興を遅らせるのではないかと危惧する声が皆野町議会の中にもあり、私も同様に、東北の復興が成つてこそ東京オリンピック成功に繋がると確信しております。

西武秩父線廃止の危機にみま

われたサーベラス問題は私達に大きな衝撃を与えました。秩父地域一市四町一村の議員で構成される『秩父地域基幹道路建設促進議員連盟』『水と森林を守る秩父地域議員連盟』では、毎年それぞれの要望活動を国・県に行つてまいりました。サーベラス問題をきっかけに昨年は新たに『秩父地域公共交通利用促進議員連盟』が発足し、秩父地域全体の問題として互いに協力してこの問題に取り組みることができました。そして、「定住自立圏構想」では、秩父地域一市四町で水道事業の統合に向けての準備室が設置されることになりました。水道事業においては水道料金の問題だけでなく、これ

からの施設・設備の維持管理の負担を、国の補助金を受けながら広域的に解決していくもので、町民の皆様の暮らしを守るためにも皆野町議会として積極的に取り組んでまいり所存です。改選から二年が過ぎ、任期の半ばを迎え、新たな気持ちで今何ができるのかを常に考え、住民の皆様への付託に応えられるよう、議会一同誠心誠意努めてまいります。

町民の皆様の変らぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。また、健康で明るい年を送られることを心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。